

教育研究上の目的

人間生活学部は、「生活学」、「女性学」を教育研究の中核とし、その具体的課題を人文、社会、自然の諸科学の成果を応用して追及するとともに、生活諸課題を合理的に解決し、発展させることのできる人材を育成することを教育研究上の目的とする。

学位授与方針（ディプロマ・ポリシー）

十文字学園女子大学では、学園歌に謳われる「身をきたへ 心きたへて 世の中に たちてかひある 人と生きなむ」の建学の精神に基づいた教育課程を編成している。所定の期間在学して、卒業要件に定められた授業科目を履修し、単位数を習得することが学位授与の要件となる。修得すべき授業科目には、講義科目のほか演習や実習、実験や卒業研究等の科目が含まれる。

本学の目的を達成するために、次の学生像を人材育成の方針とする。

1. 全学共通教育では、基礎的な学修能力を養い、心身ともに充実し、自立した女性として積極的に問題を探究する力を身につける
2. 体系的・学際的な学修により専門知識・技能で培われた教養を女性の視点から地域や社会の中で生かす方法を身につける
3. 社会生活に必要となる知的コンピテンス・社会的コンピテンスを始め、様々な人々の立場や意見を尊重し、人間として女性として誇りをもち、よりよい社会の発展と文化の向上に貢献する姿勢を身につける

そのうえで、次の資質および能力を有している者に「学士」の学位を授与する。

大学での基礎的な学修能力の育成および大学教育全体の体系化を図るために、共通科目では、以下の知的コンピテンス・社会的コンピテンスを全学生に共通して育成する能力とする。

◆知的コンピテンス 知識を活用する力

1. 読み解く力
文章を読んで、意味や記述者の意図を理解することができる
2. 書き表す力
わかりやすい文章を書くことができる。レポート、論文、発表の資料などわかり易くまとめることができる
3. 資料を活用する力
図表等を用いた表現など状況にあった活用を行うことができる
4. 創造する力
これまでのことにとらわれず、課題に対して新しい解決方法を考えることができる
5. 論理的に表現する力
論理的に考えたことを、（文章や口頭および視覚的に）的確に相手に伝えることができる

◆社会的コンピテンス 対人領域

1. 他者を思う力
自分と異なる立場や意見でも、共感し、受け入れることができる
2. 話し合う力
どんな相手に対しても、相手に合わせて、自分の考えを述べることができる

3. 協働する力

自分や周囲の役割を理解し、互いに連携・協力して物事を行うことができる

◆社会的コンピテンス 対自己領域

1. 前を向く力

自分の気持ちを認識し、客観的に自分の言動をコントロールすることができる

2. 自己を理解する力

他者と自己の違いを認め、自己の強みを認識することができる

3. 就業観を養う力

選択基準としての就業観・勤労観の確立、および主体的な選択をする力を身につけている

◆社会的コンピテンス 対課題領域

1. 目標を決める力

ゴールイメージを明確にし、目標を立てることができる

2. 計画を立てる力

目標の実現や課題解決に向けての見通しを立てることができる

3. 実践する力

自ら物事にとりかかり、実行に移すことができる

共通科目は以下の5領域で構成されるが、各領域でのDPは以下の通りである。

◆十文字学

1. 女性の生き方および社会での活躍、家庭と社会との関係、家庭の科学についての基礎知識を身につけることができる
2. グローバリゼーションのなかで地域を理解し、解決すべき課題と自分が参画していくことの意味をとらえることができる
3. 視野を地球規模に広げ、人間生活と自然環境・エネルギー問題・災害と防災について考え、自分の生活を振り返ることができる

◆保健体育

1. 自己に適したスポーツとの接し方を確立し、健康増進に寄与するスポーツの特性および多様な役割を理解することができる

◆外国語

1. 目標言語の基本的な構造や語彙を理解し、使用することができる
2. 目標言語の背景にある文化を理解し、尊重することができる
3. 自国文化について、基本的な事柄を目標言語で伝えることができる

◆情報処理基礎

1. 問題解決の手段や、表現方法を情報機器で具体化・具現化することができる

◆キャリア教育

1. 初年次の段階から働くことに対する勤労観・職業観を自ら養うことができる。同時に、社会人として必要になる基礎的・汎用的能力を高め、社会的・職業的自立を志向することができる

◆専門教育

各学科における専門領域のディプロマ・ポリシーについては、別に定める

教育課程編成・実施方針（カリキュラム・ポリシー）

十文字学園女子大学では、学園歌に謳われる「身をきたへ 心きたへて 世の中に たちてかひある 人と生きなむ」の建学の精神に基づき、創立以来、強健な身体と確固たる精神を備え、豊かで実用的な知識をもって社会に役立つ有用な女性を育成することを教育の基本理念としている。本学が目指すのは、21世紀の社会における多様な変化の中で、人とのつながりを大切にしつつ自己のライフワークを追求し、生涯にわたって心豊かで健全な生活を送ることのできる女性である。以上の理念に基づき、具体的に特に次のようなカリキュラムを展開している。

1. 初年次教育として、前期に「入門ゼミナール」、後期に「読書入門」を開設し、大学での学びへの円滑な導入を図る
2. 共通教育として、本学独自の「十文字学」を始め、「保健体育」、「外国語」、「情報処理基礎」、「キャリア教育」を設定して、社会人として必要な知識・技能を修得する
3. 専門教育として、9学科にそれぞれ専門科目を設定し、職業人として必要な専門的知識や技術を修得する
4. 学科の枠を越えた学びの場を提供することで、専門性の裾野を広げ、豊かな知識と幅広い視野を持った柔軟性のある社会人を育成する
5. 習得してきた知識・技術を統合し活用する能力を養うため「卒業研究」を必修科目として設定し、自ら研究課題を探索し取り組むことを通して、自学自習する能力を養う

[身につけるべき資質・能力]

共通教育の各領域の学修過程および学修方法は、次の通りとする。また、各学科における専門科目の各領域の学修過程は、別に定める。

◆十文字学 学びの基盤をつくる

1. 大学で必要となる学びの方法（スタディスキル）を身につける
2. 生活や社会での課題を主体的に追求し、解決に向かって考える力を身につける
3. 地域社会の一員として、地域への理解を深め、積極的に参画する態度をもつ
4. 地域の取材を通じて現状を理解し、それを文章に表現し、国内外へ発信する、といった一連のプロセスを体験を通して、調べる、まとめる、発表するスキルを身につける

◆十文字学 女性の自立・生き方を学ぶ

1. 女性として、人として自立するための基礎知識を得る
2. 女性として、人として自立するための方法論を学修する
3. 授業で学ぶことができたことを、自ら生活の中で実践する

◆十文字学 地域と社会を学ぶ

1. 地域の地理・歴史・文化を理解し、地域貢献へ向かう意欲や姿勢を持つ
2. グローバリゼーションという視点から国家的課題や人権課題をとらえ、理解する
3. 現代社会における教育・福祉・ネットワークの諸課題をとらえ、取り組むべき課題を説明する

◆十文字学 人間と自然を学ぶ

1. 地球規模で生じている問題や課題を理解する

2. 現在の自然環境問題が人間の生活・健康に及ぼす影響について理解する
3. 地球に住む私たちの安全と生活を保障するために必要なことを考え、取り組む

◆保健体育

1. 各種スポーツ種目に取り組み、技能や身体操作のコツやポイントを獲得するとともに、健康づくりに向けて体力を保持増進させる術を習得する
2. 各種スポーツ種目の試合、競い合い、発表会等を体験し、スポーツの価値や役割およびスポーツを支える基本的概念を理解する
3. 仲間とともにスポーツに取り組み、健全な人間関係の構築および社会性を涵養しようとする態度を養う

◆外国語 基礎科目

1. 聴く、話す、読む、書くの4技能の基礎を作ることで、外国語の基礎学力をつける
2. 外国や文化の異なる状況に対応出来る人材の育成
3. よりグローバル化する世界へ対応し、より広い視野で世界を見る力を養う

◆外国語 資格科目

1. 企業や社会で要求されるレベルに対応する
2. 社会人になっても通用する資格をつける力を養成する
3. 国際的な資格試験を受験することでより広い分野での活躍の基礎を作る

◆外国語 目的別科目

1. より高度な情報、専門的な分野の情報を理解する力を養成する
2. より高度な言語情報を処理し、発信する力を養成する
3. 外国語で書き、プレゼンする力を養成する

◆情報処理基礎

1. コンピュータの操作法、ネットワークの利用法について理解し、利用できる
2. 文書処理、プレゼンテーション資料作成、HTMLの作成方法を理解し、自己表現ができる
3. 表計算ソフトウェアの使い方を理解し、問題解決に利用することができる

◆キャリア教育 働く意欲を高める

1. 働くこととは何かを考え、自己成長を促進させ、学び続ける力を身につけることができる
2. インターンシップ自主社会活動に参加し、様々な経験を通して、職業観や学びの獲得ができる

◆キャリア教育 就業力を身につける

1. 基礎的な非言語領域、数学、算数、および言語領域の演習から、学力を向上させることができる
2. 一般常識を身につけ、基礎力の向上を図ることができる
3. 専門知識を身につけ、資格等の獲得ができる

入学者受入方針（アドミッション・ポリシー）

十文字学園女子大学では、学園歌に謳われる「身をきたへ 心きたへて 世の中に たちてかひある 人と生きなむ」の建学の精神に基づき、時代の変化に対応しつつ、現代社会の要請に合わせ人材養成の目標を「幅広い職業人の養成」としている。本学における教育研究活動によって、後期中等教育を修了した直後の女子学生に専門の知識、技術を修得させるのみならず、自ら学ぶ意欲と力を育て、21世紀を生きる女性としての生きる力を育てる。

本学が求める学生像は、総体的にはこの大学の設立理念に賛同し、「自分らしい生きがい」を実現したいという意欲を持った女性、人間に対する理解を深めようとする態度、より豊かな社会や人間生活の実現を目指そうとする意欲や興味を持った女性である。

なお、本学受験生は、主要科目（国語、数学、地歴・公民、理科、外国語）において、基礎的な内容の学習をしてきていること、さらに高校での教科学習を通じて、知識の獲得のみならず、知識を活用して応用的な問題解決に自ら進んで取り組む意欲が育まれていることが期待される。